

鉛細工やクイズで楽しむ  
図書室まつりに多くの入出

12月7日、第13回図書室まつりが中央公民館で行われ、多くの家族連れが集まりました。

新書や文庫本、専門雑誌やビデオ、CDなどを格安で販売する古本市には開場とともに多くの人が押し寄せました。

鉛細工・紙芝居は津別で初めての開催とあって、ちびっ子が大集合。子どもたちは鉛で作られる白鳥や馬、亀や龍など、リクエストしたものが作り上げられていく様子に見入っていました。紙芝居の読み聞かせでは、昔懐かしい「黄金ハット」や「クイズ紙芝居」などを紹介。歯切れの良い語り口と小太鼓の音に子どもや大人も自然と笑みがこぼれていました。

また、大きな紙芝居やロールシアターなどが楽しめるおはなし会では多くのちびっ子が真剣な表情で聞き入っていました。



今後も地域づくり活動を前進  
白婦連創立20年記念式典を行う



11月19日、中央公民館で津別町自治会婦人部（現女性部）連絡協議会の創立20周年記念式典が行なわれ、各自治会の女性部長など約70人が集まりました。

式典では、長良信子会長からの式辞の後、協議会の運営に努力された第2代会長の佐野繁子さんと第3代会長の土屋けい子さんに特別表彰が贈られました。

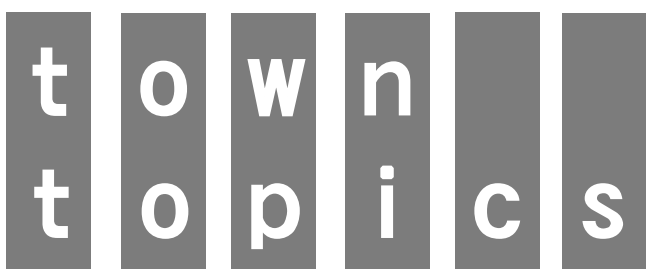
引き続き、女性プラザ地域学習事業（津別町地域学習会）として、「健康長寿のための中からデザイン」と題して、ライフスタイル研究所主宰の布上恭子さんが講演を行いました。布上さんは実技を取り入れた健康づくりのための講演を国内外で行っている「健康維持増進のため運動が大事」。また、「自分の体の変化を知ることや年齢とともに体が歪むので再構築が大切」などと話をされました。

### 落語入門講座で古典芸能を堪能 入船亭扇治さんが独演会

本物の芸術を鑑賞できる社会教育講座が11月28日、町民会館で開かれ、落語ファンなどが真打の入船亭扇治さんの生の舞台を楽しみました。



第1部では落語入門講座として、落語の「いろは」を訪れた人に分かりやすく伝授。「こっけい話、人情話、怪談」と、何でも落語のネタになることや、扇子や手ぬぐいといった小道具を使って刀や箸、そばやうどんの食べ方を披露していました。演目「幽霊タクシー」では小気味良い話し方で臨場感ある落語を披露。休憩をはさみ第2部では、古典落語の「竹の水仙」を披露。情景が浮かぶような話術に魅了され、会場の人たちは時間を忘れ本物の落語を堪能していました。



まちのわだい

### まちを照らすやさしい光 心温まるイルミネーションが点灯

12月1日、旧佐々木医院の前庭でイルミネーション点灯式が行われ、会場の子どもたちによってスイッチが入られると、青や赤、緑の鮮やかな光が幻想的な雰囲気を出していました。

イルミネーション推進委員会の佐藤久哉委員長は、「クリスマスにも点灯して欲しいという要望で行いました」と挨拶。

続いて佐藤正敏副町長が「皆さんからの寄附のおかげで行うことが出来ました。来年も出来るように協力お願いします」と挨拶をしました。会場にいた町民からは「寒い夜空に光る灯りが心を暖めてくれますね」との声が聞かれました。  
イルミネーションは1月12日までの毎日午後4時から10時まで見ることが出来ます。



無理のない移動介助を学ぶ  
家庭介護教室で実技を体験



美幌地域医療協議会主催による健康づくり講演会が11月29日に中央公民館で開かれました。

講師は北海道文教大学の佐美靖氏で、「健康づくりは週6日、無理をしない」ことから始め、「体のバランスの悪さを解消することが大事」と話されました。また、「食べる」と「体を動かすこと」が健康につながり、決して誰かに強制されるのではなく、自分のペースで取り組むことが大切で、受講生は「1回10分」「1日20分」「ニコニコペース」で持病があるかないか自分の特性に合わせて行なうことの重要性を学びました。

昔ながらの行事を体験  
べったんべったん餅つき会



12月6日、青葉幼稚園で餅つき会が行われ、園児たちが重い杵を高く振り上げ弾力と粘り気のある餅を力いっぱいにつきました。餅つきの歌やおどりを披露しながら、餅をつくお友達やお手伝いに参加した父母たちと楽しい時間を過ごしました。

餅がつきあがると園児たちは顔にでんぶん粉をつけてお父さん、お母さんと写真を撮り、自分のクラスに戻ってから餅を丸める作業を行いました。のびてなかなか丸まらない餅に苦戦しながらも、一生懸命に形を整え、みんなでおいしく食べました。

2年振りのプロレス興行！  
施設を訪れ交流深める



11月27日、アジアンプロレスリング（畠中浩旭代表）のレスラーが保育所や幼稚園、福祉施設を訪れ交流を行いました。  
プロレスに親しんでもらおうと道内各地で興行していて、2年ぶりの津別での開催に先だち町内施設を訪問しました。  
津別保育所では選手への質問や相撲などを行い、体の大きいレスラーに泣き出す子どももいました。4人がかりでレスラーを倒すと大喜びでした。  
最後に記念撮影が行われ、夜に行われる試合に、「お父さん、お母さんを誘って見に来てください」と呼びかけていました。